

四十八の神は性別が無いので、1名の親から50名（男25名・女25名）の子が生まれます。  
 国津神以下は男女性別が分かれているので、一組の夫婦から100名の子供が生まれます。  
 100名の子供の性別の振り分けは、男50名：女50名と分かります。

5 四十八の神の48名から各50名の子が生まれたので、  
 四十八の神の子＝国津神の親は2400名。

国津神・親の代、1200組の夫婦から各100名の子が生まれたので、  
 国津神の子は12万名。

10 国津神・子の代、6万組の夫婦から各100名の子が生まれたので、  
 国津神の孫は600万名。

15 国津神・孫の代、300万組の夫婦から各100名の子が生まれたので、  
 国津神の孫の子＝現津神の親は3億名。

現津神、1億5千万組の夫婦から各100名の子が生まれたので、  
 現津神の子は150億名。

20	【親神】	おやがみ かず (親神の数)	こがみ かず (子神の数)	こがみ 【子神】			
	四十八の神	48	× 50 =	2400	国津神 (親)	(男、女)	それぞれ 1200名
	国津神 (親)	2400	× 50 =	12万	国津神 (子)	(男、女)	それぞれ 6万名
	国津神 (子)	12万	× 50 =	600万	国津神 (孫)	(男、女)	それぞれ 300万名
	国津神 (孫)	600万	× 50 =	3億	現津神 (親)	(男、女)	それぞれ 1億5千万名
25	現津神 (親)	3億	× 50 =	150億	現津神 (子)	(男、女)	それぞれ 75億名

四十八の神とその子孫＝地上を担当する御神霊の数は、153億612万2448名です。  
 (現在は、更に元龍神の国津神612万名が加わり、153億1224万2448名。)

30 150億以上も神がいれば、邪な神や、悪い事を教える神もいます。  
 正しく育った神は1割だけです。(一人前の事が出来ない神が9割いるということです)  
 ※これは、会発足当初(平成18年10月現在)の割合です。  
 35 現在は、御神霊へのお諭しが進んでいるので、この割合はどんどん上がっています。  
 この正しく育った1割の神(約15億)の分身が、神の魂をもった人間として人間界に降りてきます。(神の魂を持った人間は、本体の御神霊の分魂にあたります。)

この内の、

- 40 ① 約10% (約1億5千万)・・・分魂が肉体をもって生活している。  
 (本体の御神霊は、分魂の守護神《62P》として活動。)
- ② 約20% (約3億)・・・分魂が幽界で修行している。  
 (分魂が修行して上に上がると本体と一体になる。)
- 45 ③ 約70% (約10億5千万)・・・本体と分魂が一体となって神界で活動している。